

まちの人とつくる、おおいの暮らしをたのしむカルチャー誌

Ohi Time

おおいのじかん

#01



キャンプ
読書
登山
写真
スケートボード

おおい町で、趣味をたのしむ。

hi

特集

おおい町で、趣味をたのしむ。

目の前のことをたのしむ趣味という営みは、
人々の生活を心豊かなものにしてきました。

人とのつながりを生んでくれたり、
おだやかな、もしくは刺激的な時間を届けてくれたり。

この特集では、おおい町を堪能できる趣味とはなにか、
そして、その趣味のたのしみ方についてまちの人たちに尋ねています。

趣味を通して、おおいの魅力に触れてみませんか？



まちの人とつくる、 おおいの暮らしをたのしむカルチャー誌

まちの人たちにおおい町で暮らすたのしさを教えてもらい、
フリーペーパーを通じて共有していくプロジェクト「Ohi Time」。

第一号は”趣味”を切り口に、おおい町を探索しました。

この町で生まれ育った人はもちろん、
おおい町に移住してきた人や訪れる予定のある人など、
さまざまな人に楽しんでもらえることを願っています。

camp

キャンプ

近年、ブームとなったキャンプ。自然を全身で感じ、アウトドア飯を味わう。一人で、もしくは家族や友人と、何でもない時間を過ごすことができる。

おい町では、そんなキャンプを楽しめる個性豊かな施設がある。日本海に面した「赤礁崎オートキャンプ場」と、森林に囲まれた「八ヶ峰家族旅行村」だ。今回の取材では、それぞれのキャンプ場で働くスタッフに、施設の魅力や歴史について話を伺った。キャンプギアを揃え、いざ自然を堪能しよう。



海山に囲まれた若狭のフィールドを楽しむためのギアやアパレルが充実！
おい町成海 1-8-5
SEE SEA PARK EAST 棟

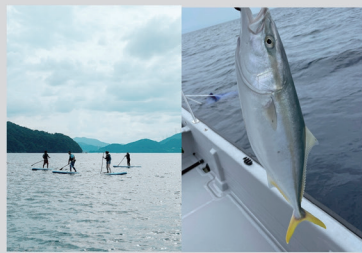


赤礁崎 オートキャンプ場

おい町大島 21-95
TEL 0770-771-2800



夏から秋のキャンプシーズンは、ログハウス・ケビンが大人気！休日の予約では、3カ月先まで瞬時に埋まってしまうのだとか。ご予約はお早めに！



キャンプ場で泊まれるだけでなく、若狭湾を堪能できるアクティビティも充実！宿泊者限定価格での船釣りやSUP体験を楽しめます。

まちな人



池田 宏司 さん
キャンプ場スタッフ

八ヶ峰家族旅行村

おい町名田庄染ヶ谷 6-18
TEL 0770-1671-2844



八ヶ峰家族旅行村がある染ヶ谷は廃村となった地域であり、僕はこの集落で育ちました。八ヶ峰家族旅行村の独自性は、ニジマスの養殖を行ったことで、廃村後も人が集まりつづけている点です。そして、キャンプ場が整備されてからは県外からも人が訪れる場所となりました。キャンプ場ではテントサイトや

バンガローなどのほかに、かつて生活が営まれていた古民家にも泊まります。今でもスタッフの何人かは、もともと染ヶ谷に住んでいた人が勤めています。先人たちのバトンを受け継ぎながら運営を続けているので、集落に遊びに行くような感覚で八ヶ峰家族旅行村にお立ち寄りいただけると嬉しいです。

まちな人



尾花 幸次 さん
八ヶ峰家族旅行村管理人

水源の森百選・森林浴の森百選に選出された八ヶ峰家族旅行村の清流では、ニジマスつかみ体験ができ、子どもたちに大人気だそう。



Q. どんなキャンプ場ですか？

日本海を一望できるキャンプ場です。80区画あるテントサイトに加え、ログハウス10棟とケビン14棟が備わっています。

Q. 施設の魅力は？

バーベキューハウス、トイレ、キャンプ用品のレンタルや販売など、施設や備品が充実しており、キャンプ初心者や小さいお子さん連れの方でも気軽に楽しめる場所です。

Q. 読者へ一言お願いします！

一般社団法人日本オートキャンプ協会にて四ツ星認定された赤礁崎オートキャンプ場で、アウトドアライフを存分に味わってみてください！

水上勉の文学に触れる

おい町ならではの読書の楽しみ方を知るため、若州一滴文庫を訪ねました。若州一滴文庫とは、おい町出身の直木賞作家・水上勉氏が「子どもたちに本と出会い、人生や夢を拾ってほしい」という思いから、私財を投じて開設した施設です。館内には水上氏の蔵書2万冊を収蔵した図書室や同氏に関する芸術作品の展示、竹人形劇場などがあります。そんな若州一滴文庫の運営を務めるNPO法人《一滴の里》の学芸員である下森弘之さんに、おい町ならではの本との関り方を伺います。



reading books
読書



本を通じて、交流する

町内では、図書館や商業施設「SEE SEA PARK」にて読書会が毎月開催されています。読書会で選書される本は、流行りの本から古典までさまざま。共通の本を読んだ人が集まり、感想を話し合います。そんな読書会の醍醐味を、毎月第一金曜日に「SEE SEA 読書会」を主催している時岡良太さんに聞きました。

「おい町だからこそ、より楽しめる水上作品はありますか？」

水上作品には、おい町を題材にした本が多くあります。例えば、『停車場有情』では若狭本郷駅でのエッセイが書かれていますし、『地の乳房』は水上勉氏のご両親の物語で大飯神社の拝殿を建てる経緯が元になった小説です。そんな町の伝統的な行事や文化を通じて作られた水上作品を読みながら現地を訪れるのは、他の地域ではできない一つの楽しみ方だと思います。

ただ、この町で生まれ育った人にとつては見知った地名がでてきて面白いものの、移住者や旅行者の方たちにとっては馴染みのない場所ですよ。



◆水上氏が生涯で執筆した本は300冊以上に及ぶ

「そんな人におすすめの作品はありますか？」

作品ではありませんが、水上氏が私財を投じて建てた「若州一滴文庫（以下、一滴文庫）」ではないでしょうか。このような施設は全国どこを探しても見当たらず、おい町独自の風土を体感していただけます。

「他の施設とはどう違うのでしょうか？」

一滴文庫は水上氏が「子どもたちに本と出会い、人生や夢を拾ってほしい」との思いから創立し、「ご自身で維持管理をされてきました。そして、閉館から15年ほど経った頃、役目を終えたと判断し、閉館される予定だったのです。



◆1985年に開館し、2025年に40周年を迎える



読書会では、多種多様な読み方に出会えます。中学生から70代の方まで幅広い世代の方が集まっているからこそ、同じ本でも読み方の違いを感じられ、いつも発見があって面白いですね。また、本を介したコミュニケーションでは、普段話せないような本音が出ることもあります。そんな自分ひとりでの読書とは、一味違った本の楽しみ方ができるので、ぜひお気軽にお越しください。

【SEE SEA 読書会・主催者】時岡 良太

しかし、町の人たちが一滴文庫を残すためにNPO法人《一滴の里》を立ち上げ、運営を受け継ぎました。そして、水上氏が亡くなる直前に一滴文庫が町に寄贈されたことで、現在も訪れることができます。創立者のふるさとへの思いがこれほど見て取れたり、町の人が運営を継承したりして存在している施設は他にないと思うのです。

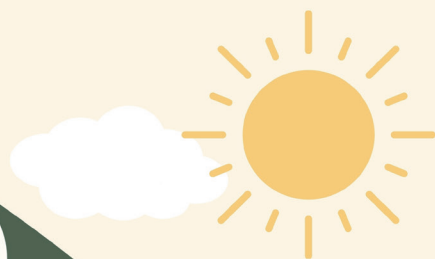
「大都市に建っているようなものは、都市の物真似はいらない。」

小屋でいい。」という水上氏の想いをもとに建築された一滴文庫で、この土地の風土を感じながら、水上作品をぜひ手に取ってみてください。

【一滴の里・学芸員】下森弘之
公式サイト 若州一滴文庫
公式サイト SEE SEA PARK

登ってきました 八ヶ峰に

編集部員で



ふくらはぎ、
パンパンや...



獣害対策のため、
テープが巻かれているよ



発見メモ

ユズリハ

新葉が成長すると古い葉が落ちるため、「譲葉」の名前がついたと言われているそう。



ムラサキアブラシメジ

ブナやアカマツなどの林下に群生。いかにも毒性のキノコに見えるが、なんと無害で食べられるらしい…!



Let's go!!



文章 … 張本 舞奎
デザイン … 菅原 愛夏

登る前は不安でしたが、およそ3時間で登れました。八ヶ峰は、初級者向けの山だと思えます。自然にどっぷりと浸りたい気分ときは、ぜひ八ヶ峰に登ってみてください。

「森林浴の森百選」「水源の森百選」に選ばれた標高800mの山、八ヶ峰に編集部のメンバーで登りました。案内人はキャンプ場・八ヶ峰家族旅行村の小西克信さんです。

mountain climbing

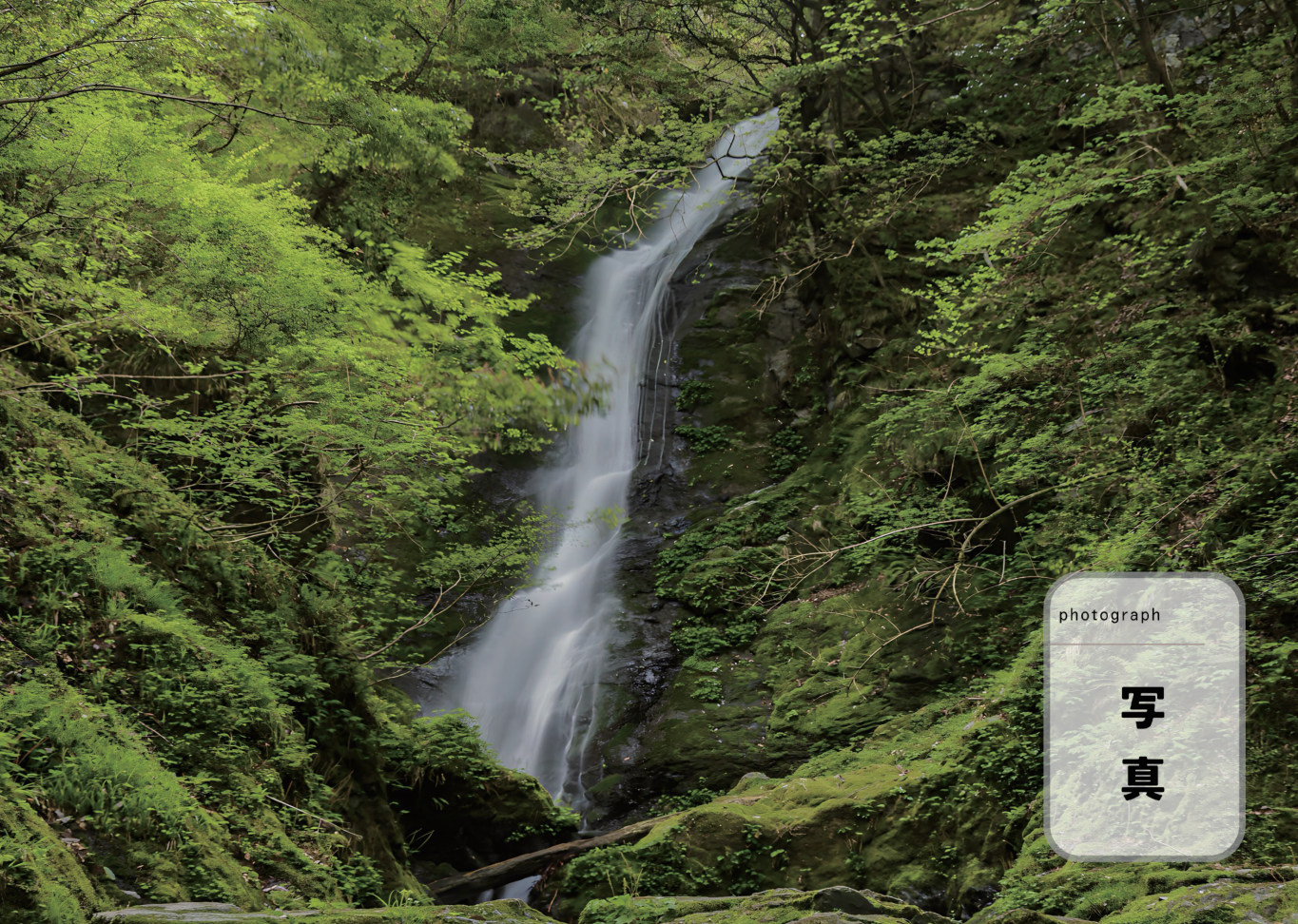
登山



編集部レポ

八ヶ峰の登山ルートは複数あり、なかでもオースメは京都府との県境である五波峠から山頂までのルートだと小西さんは言います。「この登山道では、登山の醍醐味のひとつである尾根歩きを楽しめるんです。両サイドが谷となる尾根の道では、山を歩いている実感をより強く味わえるとのこと。

八ヶ峰に登りはじめると、鹿の鳴き声やリスの姿、さまざまな色合いのキノコ、ブナやマツなどの木々といった自然に囲まれた時間が待っていました。不思議と「癒されるなあ」と、言葉が漏れてしまいます。そして、山頂にたどり着くと、全方位に広がる景色と達成感が待っていました。70歳を超える方々がレジャーシートを敷き、昼食を和気あいあいと楽し



photograph

写真

野鹿の滝



10年以上写真を撮りつづけている、おおい町で生まれ育った二人。今でも、週末には写真撮りに出掛けるという。そんなお二人に「写真のおもしろさとは」を伺いました。おおい町で撮影されたお気に入りの一枚と四季の移ろいとともに紹介します。

ホタルの里公園

写真を撮るときは、光をどう切り取るかを特に考えています。光の入り方で、写真の表情もかなり変わってきます。難しいなと思いついた時には嬉しいものです。

休日に撮影に行くのはもちろん、仕事帰りにも夕日の写真を様々なスポットから撮影し、橙の景色に日々、癒されています。個人的には春の夕日が好きで、その時期にうみんぴあから青葉山に目をやるとちょうど山と夕日が重なり、ダイヤモンド若狭富士を撮影できるのです。

十数年前、ご近所さんにカメラを持たせてもらった時のずっしり感にやられ、カメラをはじめました。

まちな人



菅原 義直 さん
名田庄出身・在住

写真は外に出かける機会をつくってくれます。いい景色やお祭りを撮りたくなりますし、カメラがなかったらホタルも観に行っていないと思うので。地域の行事や風景、花の咲く時期にも詳しくなりました。今はカメラの性能もよく、初心者でも驚くほど綺麗に撮れるので、日々の記録に始めてみると楽しいかもしれません。

高校一年生のときにお小遣いをため、ミノルタの「alpha xi」という一眼レフを買いました。写真への関心というより、カッコいい機械が好きだったので。写真を撮りはじめて31年が経ちましたが、不思議と今でも休みの日にはカメラを持って出かけています。

まちな人



猿橋 純 さん
和菓子屋「丸栄菓舗」の店主



冬のマリーナ



夕日に染まる青戸入江



かわそさんの足洗い



佐分利街道の桜並木

skate
boarding

スケートボード

きっかけは友人宅のVHSで見た、スケートボードの映像だった。「すごいカッコいい！俺もやってみよう！」

その純粋な気持ちから28年、今でも知原さんは競技を続けている。もっと上手になりたい。どうやったらもっと上手くなるのか。そのあくなき探究心で競技を続けてきた彼が語るスケートボードの魅力とは。

「全ての技をマスターしている人はこの世に一人もいません。その人の発想で無限に技を生み出せるからです。終わりが無い！飽きることもない。スケートボードの魅力はそんな追及し続けられるところではないでしょうか」

スケートボードのはじめ方

では、実際どうやって始めたらいのだろう。「最近では、YouTubeでスケートボードのHowTo動画を見て、始める人が増えています。その方法も良いですが、個人的には最初は誰かの指導を受けることをオススメします。人によって重心の位置やクセが異なるので、その人ならではの乗り方に身に着けた方がケガをしづらしいし、上達も早いと思うのです」と知原さんは語る。ただ、ス

ケートボードのいろはを教えてください。それが、そう簡単に見つかるだろうか。「昨年の7月、このスケートパークがあるうみんびあエリアに開設したSPOT skateboardshopをオープンしました。店では毎週日曜日に初心者向けの教室を行っています」。教室参加者には用具の無料レンタルも行われている。興味が湧いた方は、ぜひ足を運んでみてほしい。

ま
ち
の
人



知原 功久 さん

SPOT skateboardshop店長



Instagram · SPOT



成海緑地スケートパーク 〈うみんぱ〉

2022年4月にOPENしたスケートパーク。知原さんはその設計に携わった。こだわったのは、他のパークにはなく、これからスケートボードを始める人にもやさしいパーク。「この町をスケートボードの町にしたいんです。家の前で気軽にできるくらいの文化を根づかせたい。そのために、このパークが経験者しかできない環境だと意味がありません。なので初心者や中級者が滑りやすい設計にしています。広さも十分あるので軽く滑っているだけでも本当に気持ちいい。ビギナー向けとは言ってもの上級者の人も楽しめる、そんな仕掛けを散りばめています。1回滑るとまた来たくなる、そんな魅力がこのパークにはあります」。



＼ おおい若者まちづくり塾メンバー募集 /

おおい若者まちづくり塾とは ...

町内の10代～30代の若者が中心となって、おおい町を盛り上げる企画を実行するチームです。今回のフリーペーパーはまちづくり塾のメンバーで制作しました。

その他にもSEE SEA PARKでの納涼祭の開催など、さまざまなプロジェクトを行っています。まちづくりに興味がある方、フリーペーパーの制作をしてみたい方、アイデアを実現させることが好きな方など、メンバーで月1回程度ミーティングをしているので、お気軽にご参加ください！

WANTED



OHIO TIME
おおいのしん

問い合わせ先

おおい町役場 まちづくり課

TEL : 0770 - 77 - 4051

MAIL : machizukuri@town.ohi.lg.jp

編集後記

おおい町の暮らしをたのしむヒントを「まちの人」たちに教えてもらう冊子を作りたい。そんな想いでフリーペーパーの制作をはじめました。取材や企画でご協力いただいた方、そして、数あるフリーペーパーの中から「Oh! Time」を手にとっていただいた方、本当にありがとうございます。「Oh! Time」を通じて、おおい町で過ごす時間がよりいいものとなれば、うれしいかぎりです。

編集部より

COLUMN

MEMBER COLUMN

編集部の趣味紹介！ ～ボードゲームのススメ～

渡邊 敢太 (わたなべ かんた)

1996年生まれ。大阪府出身、おおい町名田庄在住。ボードゲームにハマリ、120個のボードゲームを所有。名田庄のお城に住んでいることから、おおい町では城主として親しまれている。

人生ゲームを代表とするボードゲームはいま、コロナ禍での巣ごもり需要を経て人気が高まり、子どもの知育ツールとしても注目されています。

そんなボードゲームの魅力はだれも置いていかないコミュニケーションツールであることです。人が集まって雑談すると、話題によってはついていけない人が出てきてしまいます。しかし、ボードゲームを囲めば、共通のルールをもとに遊べるので、だれかを放置することなくみんなで楽しみやすいのです。

また、子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで遊べたり、10人まで対応しているゲームがあったり、色んなシーンに対応できる柔軟さも備えています。友人や家族、同僚、初対面の人など、色んな人との時間を楽しむ一つの道具として、ぜひ一度ボードゲームを手に取り、試してみてください！

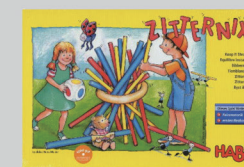


ナンジャモンジャ



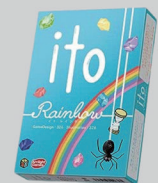
大人気のボードゲーム！
カードをめくり、描かれた
キャラに名を付け、再び出た
ら誰よりも早く名前を叫べ！

スティッキー



サイコロを振って出た色の
棒を崩さず抜き取れ！
小さいお子さんでも遊べる
入門ボードゲーム！

ito



100までの数字で1はアリ、
100がクジラだとしたらライ
オンはどこ？みんなで感覚の
ズレを楽しむ協力ゲーム！

まちの人とつくる、おおいの暮らしをたのしむカルチャー誌

Ohi Time

おおいのじかん

2024年2月発行

企画・制作 おおい若者まちづくり塾